

令和7年度前期 旭川市立近文小学校

学 校 評 価

地域・保護者の皆様へ自己評価結果の報告

はじめに

7月に実施した「よりよい学校教育のためのアンケート」に多数のご回答をいただきました。保護者の皆様のご協力ありがとうございました。

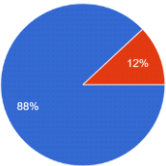
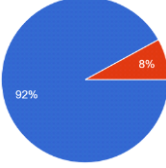
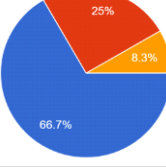
同時に実施した児童と教職員を対象としたアンケートとあわせて結果を集計し、後期に向けて改善策を検討しました。集計結果と後期の改善策、アンケート記述に対する回答をお知らせします。

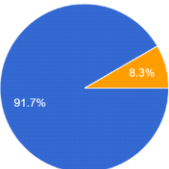
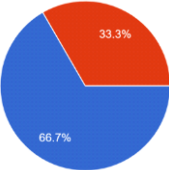
◆ 集計結果の表示

- ◆各項目について、教職員・保護者・低学年・高学年を並列し、円グラフで表示しています。
- ◆肯定的な評価の高い項目（おおむね●よくあてはまるが75%以上、または否定的評価が0%）にはグラフの右に水色■を表示。
- ◆改善の必要がある項目（おおむね●よくあてはまるが50%未満）にはグラフの右に桃色■を表示。

- よくあてはまる
- ややあてはまる
- あまりあてはまらない
- まったくあてはまらない
- わからない

I 全職員が協働する学校づくり

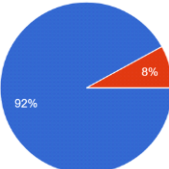
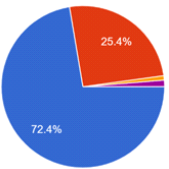
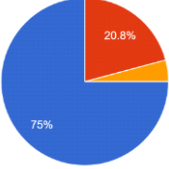
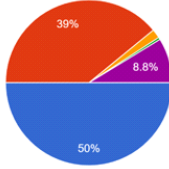
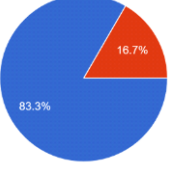
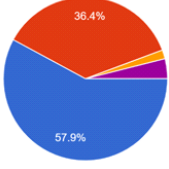
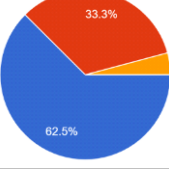
			教職員	保護者	低学年	高学年
1	学校の教育目標・重点目標達成に向けた運営	学校は、教育目標・重点目標の達成に向けて、校務分掌や特別委員会などの組織を活用し、教職員が協働しながら運営している。				
2	服務規律の徹底と不祥事防止	学校は、規律委員会などによる啓発活動をととして、コンプライアンスの確立と不祥事の防止に取り組んでいる。				
3	特別支援教育	学校は、個別の指導計画に基づいて、交流学級との連携を図りながら、全校体制で特別支援教育を推進している。				

4	不登校児童への支援	学校は、不登校児童等に対し積極的にアプローチし、適切な支援を行っている。				
5	働き方改革	学校は、重点目標達成に向けた取組に重点を置き、業務の改善を図り、教育活動に専念できる環境づくりを推進している。				

【後期の方針・アンケート記述に対する回答】

- ☐ 特別支援教育に関わって、通常学級も含めて教職員の連携を密にし、全員が協働する学校づくりを進めていきます。
- ☐ 学校における働き方改革北海道アクションプランを踏まえた「教育の質の向上」のために、自己研修や校内研修のみならず、対外的な研修を積極的に受講し、学習指導、生徒指導、学級経営など、幅広く自走する学校を目指します。

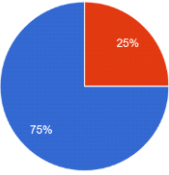
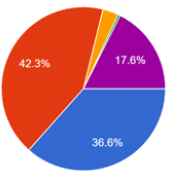
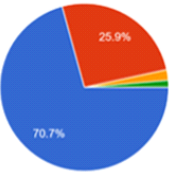
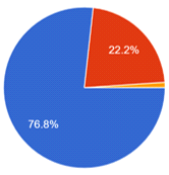
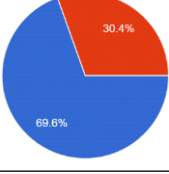
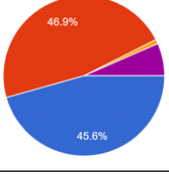
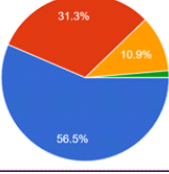
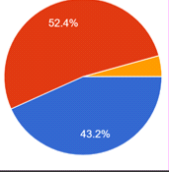
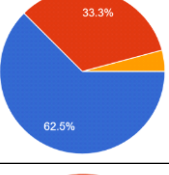
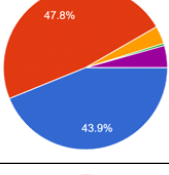
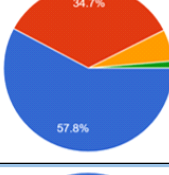
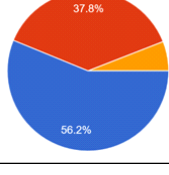
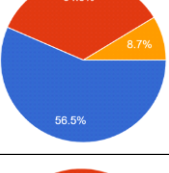
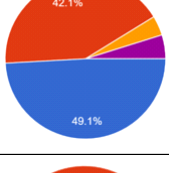
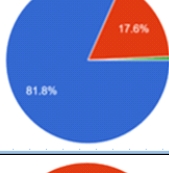
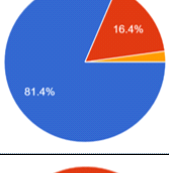
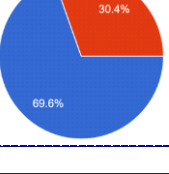
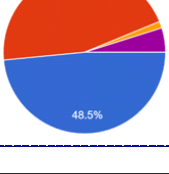
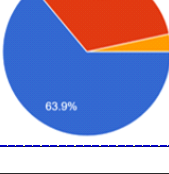
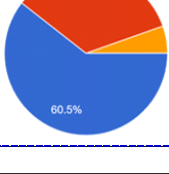
II 家庭・地域に信頼される学校づくり

			教職員	保護者	低学年	高学年
6	保護者・地域への情報発信	学校は、保護者・地域に開かれた学校として、参観日、各種通信、ホームページなどで積極的な情報発信に努めている。				
7	P T A活動	学校と保護者は、P T A活動を精選しながら、児童の健全育成や教育環境の整備、会員の交流などに取り組んでいる。				
8	地域連携	学校は、「近文あい運動」、学校行事、学校評価、コミュニティスクールなどとおして、地域との連携を図っている。				
9	幼保中との連携	学校は、学校力向上の総合実践事業、小中連携一貫教育や幼保小連携事業などとおして、近隣の幼保小中との連携を図っている。				

【後期の方針・アンケート記述に対する回答】

- 家庭や地域と目線や課題を共有するためにも、学校だより、学年・学級通信、学級懇談、PTA 活動、あい運動等をとおして、家庭・地域に信頼される学校づくりを行っていきます。
- 「いじめ防止についてお話しする機会をもっと増やしてほしい。」とのご意見をいただきました。
 - 今年度より、6月と9月に2回、保護者との個人懇談を設定しています。この他にも必要に応じて随時相談の機会を設けます。児童はというと、5・6年生は年間2時間、3・4年生は年間1時間の外部講師を招いた SNS トラブルやいじめに関する授業を展開しています。また、それ以外にも、すべての学年において道徳の授業をとおしたいじめに関する心の学習を進めています。今後もいじめ防止という視点でアンテナを高くし、外部との関連を図りながら、日々の教育活動全般にわたって迅速に指導していきます。
- PTA 活動に関して、「保護者や教職員の負担を考えると、学年ごとの役員が必要なのか疑問。見直しが必要ではないか」とのご意見をいただきました。
 - これまで、保護者、および教員の負担軽減を目的に、専門部の廃止や事業のスリム化、役員決定に向けた弾力化を図ってきました。今後も、PTA 活動のあり方について、時代の流れを把握・周知しながら検討していきます。
- 「給食試食会があればうれしい。」とのご意見をいただきました。
 - 平成29年度まで、PTA 厚生部の主催で実施してきましたが、それ以降は PTA 行事のスリム化により削減されています。PTA 本部でも検討を図りますが、現在の方向性から、実施は難しいと思われます。
- 「学年通信を紙で配付してほしい。」とのご意見を複数いただきました。
 - ICTの効果的な活用と同時に従来の学習や習慣も大切と考えます。現在行っているデータ配信は続けるとともに、紙ベースも用意し、希望の家庭には児童が自ら持ち帰ることのできるようにします。
- 「下校時刻表が分かりにくくなった。」とのご意見をいただきました。
 - ミスなく作成するためにダブルチェックをするなど、配付までにかかなりの時間を要していた作業を、今年度からICTを活用することにより時間短縮につながっています。昨今の働き方改革の視点でもご理解いただけたらとおもいます。

Ⅲ 安全でぬくもりのある学校づくり

			教職員	保護者	低学年	高学年
10	「いじめ」の未然防止～早期発見・早期対応～	学校は、思いやりのある友達関係を築き、適切ないじめの対応をしながら、安心して学べる学年・学級集団をつくっている。				
11	自律する力を育む学級経営	学校は、考えて行動する場面や互いに認め合う場面をつくり、自分のよさを気付かせ、児童の自律する力を育てている。				
12	規範意識の育成	学校は、児童が学校の決まりや約束を守って生活する指導や、忘れ物を減らす指導をとおして、規範意識を育んでいる。				
13	安全教育・安全管理	学校は、校内外の安全指導をとおして、子ども自ら危険を予測し、危機に対応する力が育っている。				
14	保健指導・環境美化	学校は、保健指導や生活習慣の指導をとおして健康的な生活をする力を育てている。また、清掃指導をとおして清潔な環境づくりをしている。				

【後期の方針・アンケート記述に対する回答】

- ☐ 今後も、集団への指導と子ども一人一人への適切な支援をとおして、児童の自律する力を育てていきます。
- ☐ いじめの未然防止に関して、保護者との連携を密にして丁寧に対応していきます。また、生徒指導だより等をとおして、いじめへの対応について情報発信を行っていきます。
- ☐ 「暑い中での遠足の実施や熱中症対策」に関してのご指摘をいただきました。
→本校の熱中症対策は、気温と湿度、環境を基に、常時計測しながら、必要に応じてグラウンド遊び（体育を含む）を中止するなどの対応をしています。遠足の実施に関しましては、ご心配をおかけすることとなり、申し訳ございません。熱中症リスクの軽減に向けて、次年度は予備日も含めて実施時期を見直していきます。
- ☐ 「昨今の教師による盗撮や性的な事件」に関しての心配が寄せられました。
→このような行為は、児童生徒の尊厳を著しく侵害する決して許されない重大な事案です。保護者の皆様が不安に思う気持ちに十分寄り添いながら、コンプライアンスの意識を高くもち、徹底を図っていきます。

IV 個性を生かし生きる力を育む学校づくり

			教職員	保護者	低学年	高学年
15	教育課程の編成・実施・改善・充実	学校は、教育課程において、新しい時代に求められる資質・能力の育成を踏まえて編成・実施し、計画的に改善・充実に努めている。				
16	基礎的・基本的学力の確実な定着	学校は、一人一人に応じた指導やつまずきへの支援をとおして、基礎的・基本的な学習内容の定着に努めている。				
17	よりよい人間関係づくり	学校は、よりよい人間関係づくりのために、挨拶や返事、言葉遣いなどの指導をとおして、コミュニケーション能力の育成に努めている。				
18	協力して課題を解決する力	学校は、意見を交流する場面を意図的に設定し、対話的な学びの中で友達と協力して解決する力の育成に努めている。				
19	望ましい習慣づくり	学校は、学習規律「がんばる5」の定着や自主学習の指導をとおして、自ら学ぶ姿勢の向上に努めている。				
20	教職員の資質・能力向上の取組	学校は、教職員の資質・能力の向上を図るための研修や教員の持ち味を生かす体制づくりを進めている。				
21	分析・重点化	学校は、諸調査の結果から課題を分析し、学力向上や体力向上の方策を検討し、教職員全員で共通理解を図っている。				
22	専科指導・少人数指導	学校は、理科・外国語・家庭科専科、算数の少人数指導を効果的に活用し、学習意欲の向上や学習内容の定着を図っている。				
23	読書指導の充実	学校は、朝・昼の読書、読み聞かせ、学校図書館の計画的な利用、国語の読書指導などをとおして、読書活動の充実に努めている。				

24	ICTの効果的な活用	学校は、これまでの実践と一人一台端末を効果的に組み合わせ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図っている。				
25	道徳教育の充実	学校は、道徳の時間を要として、各教科、特別活動、諸教育との関連を図りながら、児童の道徳性を育てている。				
26	キャリア教育などの諸教育	学校は、学校行事や総合的な学習の時間、学級活動などとおして、夢や目標に向かって努力する姿勢を育てている。				
27	体力づくり	学校は、体育の授業やマラソン、縄跳びなどの計画的な取組をととして、体力や運動能力の向上に努めている。				
28	給食指導・食育指導	学校は、日常の給食指導や食に関する指導をととして、食事や食べ物を大切にする心を育てている。				

【後期の方針・アンケート記述に対する回答】

- ☐ 給食・食育指導に関して、授業等の中で今まで以上に食事における栄養バランスについて伝えていきます。
- ☐ 朝活動5分間も含め、授業の中で「基礎・基本の習得の時間」をしっかりと位置付けて、「何が分かったか」を児童が明確に捉えられるよう授業改善を行っていきます。
- ☐ 端末の持ち帰りがスタートし、「タブレット端末を使った学習に関しての不安」が寄せられました。

→タブレット端末を利用したデジタルと従来の自主学習ノートなどのアナログには、それぞれに長所・短所があります。各学年の発達段階に応じて、適切な利用時間も含めて、それぞれの良さを生かした活用の仕方を模索し、自ら学ぶ姿勢の向上につなげていきます。

→放課後児童クラブでも利用したいとのご意見に関しましては、引き続き Wi-Fi 環境の整備に向けて市に要望を上げていきます。

V 学習習慣・生活習慣

			教職員	保護者	低学年	高学年
29	生活習慣	お子様は、早寝・早起き・朝ご飯の習慣を心がけて生活している。				
30	メディアの使用	お子様は、家の約束を守って、ゲームやスマートフォンなどを使っている。				
31	学習時間	お子様は、家で（学年×10＋10）分以上学習している。				
32	ウェルビーイング	学校に行くのは楽しいですか。				
33	自己肯定感	自分には良いところがあると思いますか。				

【後期の方針・アンケート記述に対する回答】

- 今年度から、「ウェルビーイング」と「自己肯定感」に関する項目を追加しました。いずれも5割以上の児童が「よくあてはまる」と回答し、「ややあてはまる」を含めた肯定的意見は9割を超えています。これに甘んじることなく、残り1割の児童については温かく寄り添い、早期の改善を図ります。
- ICT端末の活用を含め、これからの社会ではメディアとの共存は避けて通れないものです。子どもたち自ら生活を制御できるよう指導していきます。今後も、家庭においてメディアの接触時間のうち30分を家庭学習または読書の時間に振り替える「スライド30」について意識できるよう働きかけていきます。
- 7月に保護者の皆様にご協力いただき、家庭における情報機器の使用状況を調査しました。その結果は、8月末の学校だよりとして配信させていただきました。学校では電子メディアとの上手な触れ方を子どもたちに指導し、ご家庭にも提案しているところです。今後もインターネットやスマホに関わる安全意識を高めるための指導を継続していきます。

【Ⅰ～Ⅴに分類できないアンケート記述に対する回答】

- 「エアコンの設置に伴い、1か月を超える夏季休業を元に戻してほしい。」とのご意見をいただきました。

→長期休業の日数については旭川市で統一されています。エアコンの設置状況はというと、本校は比較的早い方で、今現在工事を進めている学校があります。中学校においては次年度の着工となっています。今回のご意見は、保護者からの声として市教委へ上げていきます。

- 年度始めの土曜日に実施している全校参観日のもち方について、「きょうだいがいると、授業だけではなく、懇談にもすべてに出席することができない。」とのご意見をいただきました。

→ご意見はごもっともだと思います。一方、土曜日の開催により、平日には参観が難しい保護者にとって有難いのご意見もあります。年度始めは、新しい学級の集団づくりや学習のルールづくり、信頼関係の構築など、もっとも慌ただしく大切な時期です。優先すべき事柄を精査しながら検討を進めていきます。

おわりに

今年度も、教育活動の検証改善サイクルの短期化を図るため、前期（7月）に1回目の保護者アンケートを実施しました。回答では、多くの保護者から建設的なご意見を多数お寄せいただきました。皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。

複数の保護者からいただいたご意見や、保護者の皆様に一層ご理解いただきたい点を中心に回答をまとめました。宿題の内容、友達関係の相談など、担任や担当者が個別に対応した方がよいと判断したご意見については、すでに連絡をとって相談させていただいています。

アンケートの記述欄では、本校の教育活動に対する肯定的なご意見を数多くいただきました。特に、担任による日頃の指導やトラブル対応、学校行事の準備や運営、担任や担当者に対する心温まるお言葉をいただきました。本当にありがとうございます。これらを目下の取組の成果と捉えて励みにしながら、そのお言葉に甘えることなく一層の学校改善に努めていきます。

一方で、私たちが普段見落としている点に対するご要望やご質問、私たちの姿勢についてのご指摘もいただきました。それらを貴重なご助言として前向きに受け止めて、後期の学校改善に反映させていくとともに、職員一同襟を正して教育活動にあたります。

今後もより多くの保護者の願いを学校改善につなげられるよう努めていきますので、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

